

2024  
春号

# ほ、えみ

## 《病院理念》

私達は院是「誠」の医療を推進いたします

- 1. 私達は他人の為に尽くして感謝しよう
- 1. 私達は自分の力で伸びて行こう
- 1. 私達は私達の規則を尊重しよう



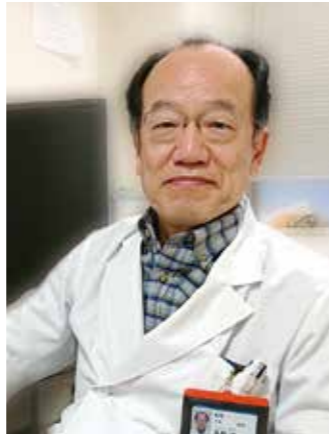
## 《基本方針》

1. 地域に根ざした病院として、安心できる医療提供に努めます

- 1. インフォームドコンセントを徹底し、患者様の選択を尊重した医療をめざします
- 1. 患者様のプライバシーを尊重いたします
- 1. 知識と技術の向上に努め最善の医療をいたします
- 1. 優しさ思いやりを大切に心のこもった公平な医療をいたします

大人では年に数回程度かぜにかかるといわれ、医療機関を受診する症状のうち一番多いのは咳です。さらに咳に対して様々な薬で治療しても、咳が長引いて困ったことがあった人は多いのではないのでしょうか。

咳とは気道内にたまった分泌物(痰)あるいは気道に吸い込まれた異物を体外に排出するための防御反応です。咳の原因診断をする時にまず咳嗽(がいそつ)が続く期間によって、3週間未満の急性咳嗽、3〜8週間続く遷延性咳嗽、8週間以上続く慢性咳嗽と分けて判断します。さらに咳に伴って痰が出る湿性咳嗽(痰がらみの咳)と痰がからまないか極少量の痰がからむ乾性咳嗽(空せき)に区別します。その他の症状(発熱、息切れ、胸痛、血痰等)を含めて、その症



◎診察日【内科、呼吸器科】  
月・水・金曜日  
8時45分～12時00分

## 長引く咳の原因と治療

内科顧問、呼吸器科 玉井 守

状の原因となる病気を診断し、的確な治療を行います。急性咳嗽の原因の多くはいわゆる風邪(急性上気道炎)です。その治療はウイルス感染が主な原因のため、抗生剤ではなくその症状を鎮める治療(咳止めを含めた対症療法)で1〜2週間程度で治まります。しかし他の風邪症状が治まった後に数週間程度咳のみが続く感染後咳嗽もありますが、同様に咳止め等で対処します。

しかし肺炎、誤嚥、心不全による咳もあるため、高齢者、糖尿病、心臓疾患、腎不全等で治療中の患者さんでは胸部X線、血液検査、喀痰検査等を行うことでその原因疾患の鑑別を行います。

数週間以上続く遷延性咳嗽あるいは慢性咳嗽になると感染症による咳は減り、気管支喘息、肺炎腫、気管支拡張症、間質性肺炎、肺癌、肺結核、非結核性抗酸菌症等による咳が多くなり、喫煙による咳の悪化もあります。その大半は胸部X線、CT検査、血液検査、喀痰検査、呼吸機能検査等で診断できます。しかしこれ

らの検査を行っても原因を特定できない慢性咳嗽があります。その中で多い原因としては乾性咳嗽の咳喘息と湿性咳嗽の後鼻漏症候群です。

咳喘息とは喘鳴(ヒューヒュー、ゼイゼイ)、呼吸困難を伴わない乾性咳嗽でその咳は夜間、早朝に多いのが特徴です。また感染後咳嗽と違って季節性に繰り返す咳であることが多いです。診断としては症状と呼吸一酸化窒素検査(呼気NO検査)等で判断します。治療は吸入ステロイド薬と気管支拡張薬で行いますが、経過中に典型的な気管支喘息に移行することが約30%あるため、継続的な治療が必要です。尚呼吸一酸化窒素検査は、気管支アレルギーの程度を判定する検査で、気管支喘息、咳喘息の診断と気管支喘息への治療効果の判断に有用です。この検査器械に10秒間息を吹きこむだけで測定できるため、子どもでも可能で負担にならない検査です。

後鼻漏症候群とは、蓄膿といわれる慢性副鼻腔炎とアレルギー性鼻炎が原因で、鼻汁がのどへ降りてくるために湿性咳嗽が続く病気で、アメリカでは上気道咳嗽症候群といわれています。その治療は抗アレルギー薬と去痰薬です。尚、日本呼吸器学会の喀痰・咳嗽の診療ガイドラインでは副鼻腔気管支症候群との病名で記載

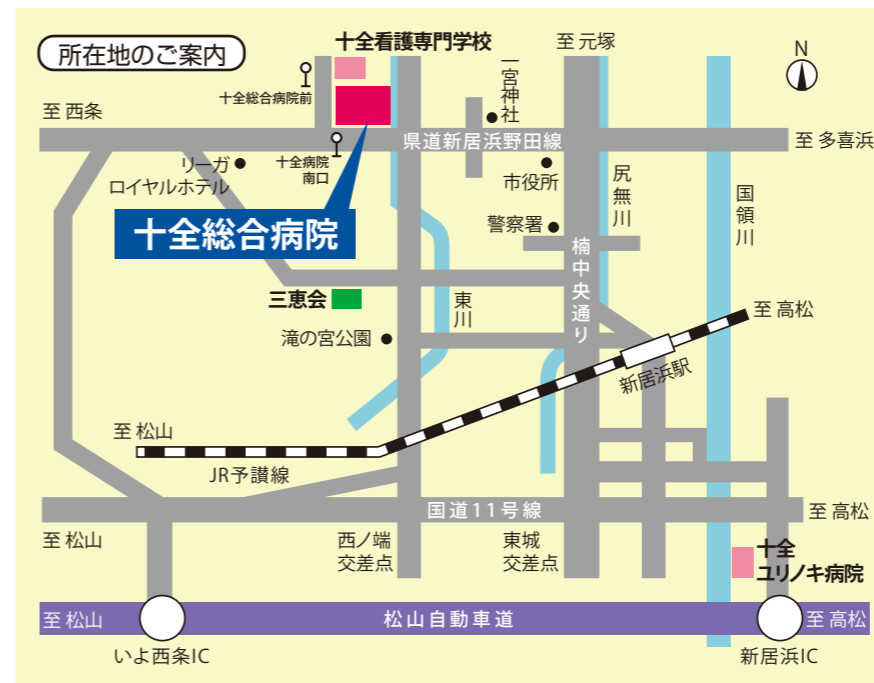
# 健康教室、リニューアルします

●毎週水曜日⇒月1回 第2水曜日 14時～15時

★初回は4月10日です★

※ 昨年は1つの職種がお話しておりましたが、今年からいくつかの職種が担当するようになります。

- 4月「糖尿病を知る」
- 5月「高血圧について」
- 6月「歯の健康を考える」



《お車》新居浜ICから約20分、いよ西条ICから約20分  
【駐車場完備 272 台収容可能】

《バス》瀬戸内バス ……「十全総合病院前(広瀬→多喜浜線)」下車  
「十全病院南口(今治→マイントピア別子線)」下車

《JR》JR 予讃線 ……新居浜(いよ西条) 駅下車、タクシーで約10分

一般財団法人 積善会  
**十全総合病院**  
〒792-8586 愛媛県新居浜市北新町1番5号  
TEL(0897)33-1818 FAX(0897)37-2124  
ホームページアドレス <https://jyuzen.jp/>



- 医療・福祉 十全グループ
- 十全看護専門学校  
あたたかい気持ちとあつい心をもった看護師の育成を図っています。
  - 愛媛十全医療学院  
理学療法士、作業療法士の育成  
校是【博く学び、深く思い、厚く思いやる】
  - 愛媛十全医療学院附属病院【内科・整形外科】  
生活能力の回復と維持を図っています。
  - 医療法人 十全会 十全ユリノキ病院【精神科】  
あたたかい心、思いやりの心、私達は心の医療を推進します。
- 社会福祉法人 三恵会
- 子供から高齢者まで、幅広い世代へのお世話をしています。
- 総合福祉施設 やすらぎの郷
  - 介護老人福祉施設 ハートランド三恵
  - 介護老人保健施設 リハビリステーション三恵荘
  - 希望の館
  - 三恵ホーム
  - 十全保育園
  - 障害者支援施設 中萩保育園
  - 児童福祉施設 コミュニティハウス三恵
  - 児童福祉施設 福 社
  - 総合福祉館 恵海
  - 福祉館 新居浜市立慈光園
  - 養護老人ホーム

**病院敷地内 全面禁煙**

トイレや人目につかないところでの喫煙は防火管理上も大変危険ですので、喫煙はくれぐれもご遠慮ください。皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。 病院長

十全総合病院薬剤科  
**Instagram**  
始めました

薬剤科についてだけでなく  
院内やスタッフの休日についても  
発信していきます👉  
フォローお願いします👉

NIHAMA\_JYUZEN\_YAKUZAI  
@nihama\_jyuzen\_yakuzai

- 患者さまの権利**
- 私たちは患者さまのより良い信頼関係を築くため「患者さまの権利」を尊重します。
1. 良質で安全な医療を平等にうける権利
  1. 病気の診断・治療方針・今後の見込みについて十分な説明をうける権利
  1. 他院を含め他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利
  1. 自分が受ける医療に参加し自ら決定する権利
  1. 診療上の個人のプライバシーについて保護される権利
  1. 診療記録の開示を求める権利
- 患者さまの責務**
1. 医師が説明し同意した治療方針に協力する義務があります。
  1. 自分自身の健康に関する情報はできる限り正確にお伝えください。
  1. 院内の規則を守り、他の患者さまの治療に支障を来さないよう協力をお願いします。

されています。

他の原因としては、アトピー素因があり、のどのイガイガ感を伴って咳が続くアトピー咳嗽があり、抗アレルギー薬で治療を行います。胸焼け等を伴う胃食道逆流症も咳の原因のひとつで胃酸を抑える薬で治療を行います。

咳、痰に対して抗生剤、咳止め、痰切り等を服用しても十分治まらない時には、その症状、経過に応じた必要な検査を行い、適切な治療が大切です。

## ほほえみ医療メト

### 病院薬剤師の仕事

薬剤師 佐伯 千春

街の薬局の薬剤師さんとは接したことがあっても、病院の薬剤師と接したことがない方が多いのではないのでしょうか？病院の薬剤師がどのような仕事をしているか紹介したいと思います。私たちは病院のなかで使用さ

れるお薬が安全で効果的に使用されるよう様々な業務をおこなっています。不安や疑問点などありましたら気軽に薬剤師に相談ください。

#### ●調剤

医師の処方せんに基づいて、薬を取り揃えたり、量ったりしています。「薬の量や「使い方」「飲み合わせ」などに関して疑問があれば、医師に確認します。

#### ●注射調剤

入院患者さんや化学療法(抗がん剤)の注射を行う患者さん一人一人が使用する注射薬を1回分ずつ調剤しています。「薬の量」「投与速度」「一緒にませたいいけない注射薬」などを確認しています。

#### ●注射の調製

注射薬は、直接体に投与するため、正確で衛生的な作業が要求されます。抗がん剤は、清潔に保たれた専用の部屋で、調製しています。抗がん剤はとても強い作用があるので、体にいたり吸い込んだりしないように

カウンや手袋、マスクなどを着けて行っています。

#### ●服薬指導

薬の効果、服用方法、注意点、使い方などを説明しています。また、薬の副作用や、困っていることはいかなど確認し、患者さんにあったよりよいお薬がないか考え、医師に提案することもあります。

#### ●病棟業務

入院された患者さんの持参された薬の確認、服薬の状況、副作用歴等を確認しています。疾患や症状、年齢、体格、腎臓の機能などを確認し減量または中止したほうが良いと思われる薬があれば医師に提案することもあります。使用している薬が効いているか、副作用が出ていないか確認をします。カンファレンスへの参加や病棟の薬品管理もおこないます。

#### ●チーム医療

医師をはじめいろいろな職種がチームとなり、患者さんに最善の治療を提供するために、連携して治療にあたります。この医療チームの一員として、効果的な薬物治療を行うために薬剤師は専門知識を活かし参加しています。日々専門知識を高める勉強をしています。



## TV取材を受けました

当院では、1991年より34年間、花粉飛散情報(1月中旬～4月末まで)として臨床検査科による当院屋上での花粉飛散量を計測し結果を内科・耳鼻科・眼科の診療に役立てています。

このことがeat愛媛朝日テレビに取り上げられました。

気象予報士津村研太さんによる取材を受け、花粉を観察する様子や今年の飛散予想、飛びやすい条件などについての回答が放送されました。

\*花粉飛散量は十全総合病院ホームページへの掲載もしております。



## ほほえみ医療メト

### 医療とAI

診療放射線技師 徳永 高之

近年のAI(人工知能)の技術発展は目覚ましく、医療分野への活用も増加しています。特に進んでいる領域は、AIによる画像診断支援です。医療技術の発達で読影が必要な医療画像の数が増え、診断する医師の仕事は増えていますが医師の数は増えな

いため、作業の効率化が課題となっていました。そこで、診断の質を高めつつ医師の負担を軽減するために導入された技術のひとつが、AIによる画像診断支援です。

X線画像やCT・MRI画像の異常部分を検知でき、病気の見逃し防止と早期発見、医師の作業削減などのメリットがあります。当院でも2023年4月よりエルビクセル社製ERL Chest Screeningを導入し、胸部X線画像の画像診断支援に用いています。また、医療機器にもAI技術が搭載されてきています。

CTは、人体を透過したX線のデータを円周状に収集し、画像再構成処理によって断層画像を取得する装置です。照射するX線量が多けれ

ば高画質が得られますが、患者の被ばく量が増えます。

一方、X線量を低く抑えれば被ばく量は低減するが、ノイズが増加して画質が劣化するという相反関係があります。当院では2020年7月よりAIを用いた深層学習応用再構成法「AI-CIE」を搭載したキャノンメディカルシステムズ社製CT装置Aquilion Prime SPを導入しています。この装置では、低線量でありながら高画質を実現することができ、診断精度向上および被ばく量低減に貢献しています。

医療の中でAIを上手に使うことで、結果的に医療の質が上がったり、効率が上がったり、コストが下がったりすれば患者さんおよび病院双方にとってメリットとなります。そろばんが計算機やパソコンに変わっていったように、医療にAIが当たり前に使われるようになっていく未来もそう遠くないと考えられています。

引用文献:国立研究開発法人産業技術総合研究所HP

## 紹介医の先生方との集い

令和6年2月17日(日)リーガロイヤルホテル新居浜において日頃から患者さまをご紹介いただいている地域の先生方をお招きし、「紹介医の先生方との集い」を開催しました。

この会は「顔の見える医療連携を推進する」という目的で平成9年2月に第1回目を開催して以来、ここ数年はコロナで中止を余儀なくされましたが、今回で25回目を迎えました。

市内外から52名の先生方が出席され、理事長及び院長挨拶、当院の医師紹介のあと、当院の最近の話題として、外科部長北川一智より「外科・ヘルニア外来のご報告」という演題で講演が行われました。その後、懇親会では、新居浜市医師会長山内保生先生による乾杯のあと、会食となりました。場内は和やかな親睦の場となり、紹介医の先生方と当院医師による情報交換など、様々な話に花をさかせ、有意義な交流のひとつとなりました。

地域包括ケアシステムの実現に向けて、医療連携は不可欠であり、今後も継続して開催していきたいと思っております。

